

會津八一記念館ゆかりの作家 **31人** が選ぶ

# 私の好きな

# 往 独

飛州道人

會津八一書《獨往》

生きざま、経験、学び、修行… 書が人となりを表わすということは  
こういうこと(八一翁の書)なのだと思った

— 松村雄基(俳優、書家)

# 八一の書

- 浅井慎平(写真家)
- 伊藤省風(書家)
- 今井昭友(書家)
- 薄田東仙(書家、刻字家)
- 大嶋彰(画家)
- 川上宗雪(茶家)
- 川口夢墨(書家)
- 蒲原宏(俳人)
- 菊田竹子(書家)
- 杭迫柏樹(書家)
- 櫛谷一代(画家)
- 小池邦夫(絵手紙作家)
- 小林畦水(書家)
- 齋藤尚明(陶芸家)
- 佐藤光堂(書家)
- 菅井慶城(書家)
- 菅井柳翠(書家)
- 千宗屋(茶人)
- 高野公彦(歌人)
- 谷雅子(絵手紙作家)
- 角田勝久(書家)
- 坪内雪山(書家)
- 丹羽芝水(書家)
- 野中吟雪(書家)
- 原奈緒美(書家)
- 樋口志保(書家)
- 藤井善三郎(書家、小説家)
- 松村雄基(俳優、書家)
- 宮田亮平(金工作家)
- 三膳春雪(書家)
- 若松英輔(批評家、評論家)

50音順 敬称略

2020年 12月22日(火) ~ 2021年 3月28日(日)  
午前10時 ~ 午後6時(午後5時30分まで受付)

「会場」 新潟市會津八一記念館

「休館日」 月曜日(ただし祝日の場合は翌日) ※12月28日 ~ 1月4日冬季休館

「入館料」 一般500円、大学生300円

高校生200円、小・中学生100円

※団体20名様以上2割引、土日祝日は小・中学生無料

「主催」 新潟市會津八一記念館

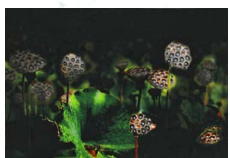
「共催」 新潟日報社

「後援」 BSN新潟放送

「協力企業」 浅川園、今成漬物店、大阪屋、里仙、高橋酒造

### 同時開催

〈第14回〉  
會津八一の歌を映す  
写真コンテスト  
入賞入選作品展



〈第14回 秋神道人賞受賞作品〉  
高澤 和也 氏(新発田市)  
「つと入れば  
あしたの壁にたちならぶ  
かの招提の大菩薩たち」



AIZU YAICHI  
AIZU YAICHI MEMORIAL MUSEUM

新潟市會津八一記念館  
TEL.025-282-7612(10:00~18:00)

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1  
新潟日報メディアシップ5F

https://aizuyaichi.or.jp



入館割引券  
・本券持参で2名様まで  
・2割引きいたします  
・他の割引との併用不可  
2021.3.28まで有効

津八一記念館は1975

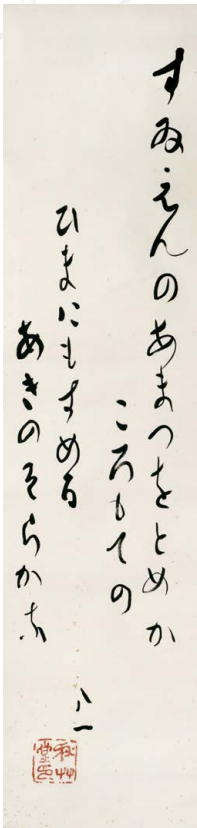
（昭和50）年4月に開館し、本年が開館45周年にあたり、それを記念して今企画展では、過去6年間で開催した当記念館主催の講演会講師または来館された絵手紙作家、俳優、写真家、陶芸家、俳人、茶家、金工作家、書家の31人に記念館所蔵の中の代表作品81点を示し、そこから好きな八一作品を選んでいただきました。現役で活躍されている作家が、八一の書の魅力とその書に寄せる思いを存分につづつていきます。

同時に第14回「會津八一の歌を映す」写真コンテスト入賞入選作品展も開催します。写真を通じて八一のうたごころを感じることができる良い機会となるでしょう。

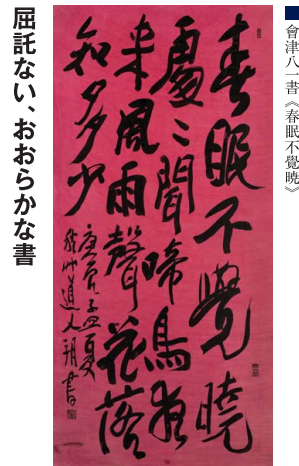


八一の書と画は魅力のかたまり  
— 小池 邦夫 (絵手紙作家)

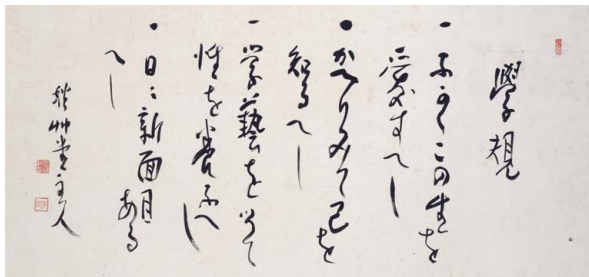
■會津八一歌書《すゐえんの



力強くて朴訥で味わい深い  
— 高野 公彦 (歌人)



■會津八一書《春眠不覺曉》  
— 藤井善二郎 (書家、小説家)



■會津八一書《學規》  
— 藤井善二郎 (書家、小説家)



■會津八一書《秋艸道人》  
— 川上 宗雪 (茶家)

自分にも若き学生達にも  
示せる作品は「學規」が良い  
— 宮田 亮平 (金工作家)

EVENT INFORMATION 関連イベント

文芸講演会「八一の書の魅力」

【講師】野中 吟雪 (新潟市會津八一記念館館長)  
【日程】2021年2月7日(日) 午後2時～3時半  
【会場】日報ホール (新潟日報メディアシップ2階)  
【聴講料】500円 【定員】90名  
※事前申し込みが必要です。



作品解説会 (学芸員)

【日程】会期中の第2、4日曜日 (12月27、1月10日、  
24日、2月14日、28日、3月14日、28日)  
午前11時～約50分  
【会場】当館展示室 (企画展入場券が必要です)  
※展示室内の混雑緩和のためやむを得ず入場制限を行う  
場合があります。

第14回秋艸道人賞  
「會津八一の歌を映す」  
写真コンテスト入賞入選作品展

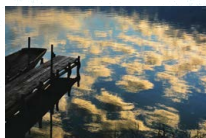
【日程】2020年12月22日(火)～  
2021年3月28日(日)

期間中、本展覧会名を2人の書家による揮毫で展示室前に掲示しています。12月22日～2月7日：樋口志保先生 (新潟県書道協会理事長、新潟市) / 2月9日～3月28日：伊藤路可先生 (新潟県書道協会理事、胎内市)

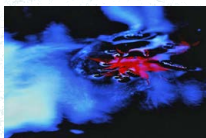
第14回 秋艸道人賞「會津八一の歌を映す」写真コンテスト入賞入選表彰式・公開講評会

【日時】2021年2月11日(木・祝) 午後2時～  
【会場】日報ホール (新潟日報メディアシップ2階)

【講評】浅井慎平氏 (写真家)、和泉久子氏 (鶴見大学名誉教授)、若松保広氏 (仏像写真家)  
【定員】90名 無料 ※事前申し込みが必要です。



〈新潟市長賞〉  
「水煙の」  
藤井 則子 氏  
(新潟市西蒲区)



〈胎内市長賞〉  
「藤原の」  
和田 広次 氏  
(新潟市西区)



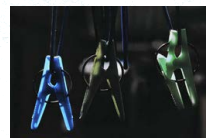
〈新潟日報社賞〉  
「ひとりゆく」  
大橋 一廣 氏  
(新潟市秋葉区)



〈BSN賞〉  
「おほらかに」  
澤 哉三 氏  
(奈良県生駒郡)



〈八栗寺わたつみ賞〉  
「すべもなく」  
内山 義昭 氏  
(新潟市中央区)



〈審査員特別賞〉  
(會津八一生誕140年記念)  
「霜荒き」  
佐久間 光夫 氏  
(新発田市)

申し込み方法

- 往復はがきに参加を希望するイベント名と、住所、氏名、電話番号をお書きのうえ、會津八一記念館までお送りください。
- ただし通につき1イベント、1名様でのご応募といたします。定員に達し次第締め切ります。
- ※新型コロナウイルス感染症の影響により、会期、関連イベントなどが変更になる場合があります。

【ご来館の際はマスクをご着用ください】

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ 5F  
TEL.025-282-7612 / FAX.025-282-7614

当館へはメディアシップのエレベーターをお使いください。(階段はございません)

◎交通のご案内 新潟駅から バス約9分、タクシー約5分、徒歩約15分、新潟空港から タクシー約15分  
◎駐車場のご案内 メディアシップ駐車場(24時間営業) 第1駐車場は220円、第2駐車場は200円(第1、第2共に30分 税込)  
※周辺には、万代シティ駐車場、朱鷺メッセ駐車場などがございます。